

第20回全外教セミナー・神奈川集会

- 在日外国人の子どもたちの不就学問題を考える -

ご案内

私たち全外教は、1996年に第1回全外教セミナーを神奈川の地で開催しました。以来、多文化共生社会実現に向け、外国籍や外国にルーツをもつ子どもたちの教育課題と共生への課題とを核にしながら、解決への道筋を提起してきました。そのセミナーも本年第20回を迎えることとなりました。今回のセミナーは、「在日外国人の子どもたちの不就学問題を考える」と題して、四度神奈川の地で開催いたします。

外国籍の子どもたちをめぐる教育的課題は山積し、とりわけ不就学の問題は深刻です。

外国人登録者数は約208万人(法務省調べ、2006年末現在)となり、過去最高を更新しています。また、それにともない、日本に暮らす外国人の子ども数も増加しています。このため、文部科学省でも公立学校に在籍する外国人の子どもの実態調査や日本語指導の充実等の施策のとりくみがすすまっています。

文科省では「不就学外国人児童生徒支援事業」として、ニューカマーが集住する自治体を中心に外国人の子どもの不就学の実態調査を行い、個別訪問をともなわないサンプル調査で1.1%と発表しました。

この調査は、転居・出国者等を除外したもので、この中にも多くの不就学者が含まれている可能性があります。いくつかの自治体が行った個別訪問による不就学調査からは、約10%の子どもたちが不就学におかれているものと推測されます。

外国人集住都市会議や法務省のプロジェクトチームは、不就学対策として、外国人義務教育化を提案しています。2006年末、文科省も加わった外国人労働者問題関係省庁連絡会議は、「公立学校における外国人教育の充実を図るとともに、就学の促進を図る」と明言しました。2007年末に関東4都県が文科省に提出した要望書も、外国人の子どもの不就学に関して制度改革を訴えました。

今セミナーでは、不就学の子どもたちと日々接し現状に詳しいお三方をパネリストに迎え、解決に向け一緒に考える場としました。刻一刻と状況が動く現場からの報告をしていただきます。

神奈川は遠いとお感じの方もいるとは思いますが、交通の便が良い会場を用意しましたので、ぜひお越しください。全国の皆さんと交流し、課題の解決に向けた方途をさぐりたいと思います。



- 主催 全国在日外国人教育研究協議会
神奈川県在日外国人(多民族・多文化共生)教育連絡協議会
- 後援 神奈川県教育委員会(申請中)
文部科学省(申請中)
- 日時 2008年5月10日(土)14時~16時30分
- 場所 川崎市産業振興会館
川崎市幸区堀川町66-20
- テーマ 在日外国人の子どもたちの不就学問題を考える
- パネリスト 竹川真理子さん(信愛塾)
鈴木健さん(カラカサン)
初田元明(在外教滋賀)
- コーディネーター 島本篤エルネスト(神奈川県外連)
- 参加資料代 1000円
- その他 セミナー終了後、全国交流会を予定しています。
参加費は4000円です。
- 連絡先 神奈川県外連(神奈川県高教組内) TEL 045-231-2479

